

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。
を批判すること』との答えだったとのこと。

人類の長い歴史の中で、今もなお、私たちを取り巻く本質的な課題は変わっていないようです。むしろ、現代はリアルで対話する機会が極めて減り、時に不用意なコミュニケーションから、大きな問題に発展するケースもあります。

20代前半、先輩からの厳しい言葉から気づきをもたらしたこともありまし
た。最近では還暦を過ぎてから不登校の中学生たちから教えられた『気づ
き』もあります。

対面でフランクな『対話』がいかに大切かを痛感する昨今です。

【聖歌隊と一緒に歌いましょう】

大学礼拝では学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。歌って
みたい学生は、礼拝後にオルガン前にお越しください。お待ちしております。

【オルガンコンサートの案内】

2024年度に新潟在住の酒井薫さんより酪農学園にオルガンをご寄贈い
ただきました。つきましては、以下の通りオルガンのお披露目を兼ねた礼
拝に合わせて、礼拝後にオルガンコンサートを開催することになりました
。みなさん、どうぞ覚えてご出席をお願いいたします。

・日時：2025年10月21日（火）10時40分

・場所：黒澤記念講堂

第1部 礼拝（大学礼拝）：10時40分

第2部 オルガンコンサート：礼 拝 後

【オルガンコンサートのリハーサルの案内】

以下の日程でリハーサルを行います（場所：黒澤記念講堂）

・1回目：2025年10月7日（火）礼 拝 後（11時30分前後より）

・2回目：2025年10月14日（火）礼 拝 後（11時30分前後より）

・3回目：2025年10月20日（月）時間未定

【次回の大学礼拝】2025年10月14日（火）10時40分

聖書：ヨハネによる福音書 6章 11-12 節

奨励：「シェアする世界——酪農学園大学の使命」小林昭博（宗教主任）

【前回の大学礼拝】2025 年 9 月 30 日（火）

学生：22 名 教職員ほか：8 名 合計：30 名

【大学礼拝週報】2025 年度 第 18 号（後学期第 3 号）

2025 年 10 月 7 日（火）午前 10 時 40 分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《礼 拝 順 序》

司 式 小林昭博（宗 教 主 任）

奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）

讃美指導 相原晴伴（循環農学類教授）

前 奏 愛しまつる神にのみ（J.C.バッハ作曲）

讃 美 歌 讃美歌 2 1 402 番（いともとうとき）

聖 書 マタイによる福音書 7 章 3-5 節

祈 り

さ ん び

酪農学園大学聖歌隊

奨 励 「これまでの様々な気づきを振り返って思うこと」

祈 り

高島英也（酪農学園理事長）

讃 美 歌 酪農讃歌（黒土よ）

報 告

後 奏 すべてのものよ、神に感謝せよ（ハーセ作曲）

【本日の聖書】マタイによる福音書 7 章 3-5 節

「あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。」
「兄弟に向かって、『あなたの目からおが屑を取らせてください』と、どうして言えようか。自分の目に丸太があるではないか。」
「偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除け。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目からおが屑を取り除くことができる。」

【奨励】「これまでの様々な気づきを振り返って思うこと」

『この世の中で最も難しいことは？』 古代ギリシャの哲学者の答えは『自分を知ること』でした。では、『最も簡単なことは？』それは『他者